

平成24年度における施策評価

施策評価調書

政策コード	6	政策名	学校教育の充実と青少年の健全育成			
施策コード	3	施策名	高等教育機関の充実と地域貢献の推進			
幹事部局コード	2	幹事部局名	企画振興部	担当	学術国際局学術振興課	
評価者・実施日	1次評価（企画振興部長）		平成24年7月31日			

1 施策の方向性（必要性と目的）

大学全入時代の到来と18歳人口の減少により大学間競争が激化するなど、全国的に高等教育機関を取り巻く環境が大きく変化している。そうした中で高等教育機関が地域における知の拠点としての役割を果たし、多様な社会的要請に応えていくため、各機関が特色ある教育研究を進めるとともに、それぞれが持つ知的資源を地域社会に積極的に還元するための取組を促進する。

2 施策の状況

(1) 施策目標及びその達成状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H22	H23	H24	H25	備考
		年度						
①	県内大学等入学定員充足率(年間)	100	目標値	100	100	100	100	
		H17	実績値	97	100			
	学術振興課調べによる		達成率	96.6%	99.7%			
②	県内大学等による公開講座等の実施テーマ数(年間)	5	目標値	215	217	219	221	
		H11	実績値	238	236			
	学術振興課調べによる		達成率	110.7%	108.8%			
達成度				B	B			

達成度 A:「全て達成」 B:「半分以上達成」 C:「達成が半分未満」 D:「全て未達成」 E:「その他」

(2) 施策の推進状況

①高等教育機関の教育研究機能強化と個性化

■取組内容

○グローバル社会で活躍できる人材を育成する国際教養大学、本県の産業と地域の振興に寄与できる技術系人材を育成する秋田県立大学への支援を行った。
 ○地域の医療・福祉を担う人材を育成する看護系大学、特色ある教育研究や職業に直結した教育を行う私立大学、専修学校等に支援を行った。
 ○県、秋田大学、秋田県立大学、秋田高専、県教育委員会が連携し、「科学者の卵」育成事業を実施し、科学講座の開催やホームページによる情報提供等を行った。

■取組の成果

○国際教養大学と秋田県立大学では、志願倍率、就職率ともに高水準を維持しており、また、両大学とも特色ある教育課程に対しては社会的評価を得ている。また、国際教養大学では本県の国際化の推進、秋田県立大学では県内企業の技術開発等に貢献している。
 ○看護系大学等への支援により、地域の看護・介護人材の育成が促進された。また、私立大学等への支援により、個性的・魅力的な教育が推進された。
 ○理科系大学等との連携による「科学者の卵」育成事業の実施により、理科好きの子どもの裾野拡大等が促進された。

■課題と今後の推進方向

○少子化を背景に全国的に大学間競争が激化しており、県内でも一部の私立大学で定員割れが生じている。各大学等は、教育研究機能の一層の強化や個性化が必要となっており、引き続き、県内大学等への支援を行う。
 ○産業振興、環境エネルギー問題等の課題を解決するためには、科学技術の発展が大きなカギを握っており、科学技術の次代を担う人材の育成が求められている。科学に興味を持つ子どもの裾野を広げるため、引き続き理科系大学等と連携し、体系的な取組を推進する。

②秋田を活性化する地域貢献活動の推進

■取組内容

○各高等教育機関への支援をとおして、各機関による県民向け公開講座の開催や地域課題解決に向けた取組など、各機関の強みを活かした地域貢献活動が促進された。
○カレッジプラザの運営や大学コンソーシアムあきたの活動への支援をとおして、県内高等教育機関の連携を強化し、中学・高校生や地域住民を対象とした幅広い分野の講座の開催や地域課題解決に向けた研究活動等の充実を図った。

■取組の成果

○大学コンソーシアムあきたの活動により、県内高等教育機関の連携が進み、教育研究機能の強化が図られた。
○各高等教育機関、またはその連携組織である大学コンソーシアムあきたによる公開講座の開催等により、県民への多様な学習機会の提供が推進された。

■課題と今後の推進方向

○グローバル化、情報化、少子高齢化が進む中、地域の知の拠点である高等教育機関には、人材育成や産業振興など、多様な分野で地域の発展・活性化に貢献することが求められている。今後も、カレッジプラザの運営や大学コンソーシアムあきたへの支援等をとおして、県民への多様な学習機会の提供等による地域の活性化に向けた取組を推進する。

3 評価

(1) 施策幹事部長による1次評価

評価結果	●施策の推進状況
順調	①「高等教育機関の教育研究機能強化と個性化」 高等教育機関の運営に対する各種支援により、それぞれの大学等が個性的な教育研究活動を実施している。 ②「秋田を活性化する地域貢献活動の推進」 大学コンソーシアムあきた及び県内各高等教育機関による公開講座のテーマ数が目標を上回るなど、大学間連携・地域貢献活動が活発化している。
	●課題と今後の推進方向 ①「高等教育機関の教育研究機能強化と個性化」 大学間競争が激化する中で、県内高等教育機関が持続的に発展するためには、教育研究活動を一層充実することが求められている。このため、引き続き、国際教養大学、秋田県立大学をはじめ、看護系大学、私立大学等への支援を行っていく。 ②「秋田を活性化する地域貢献活動の推進」 高等教育機関には、人材育成のほか、県民への学習機会の提供や地域課題の解決など多様な役割が期待されており、これらに役立てていくためには、個々の大学等の機能充実はもとより、大学間が連携した取組も有効である。大学コンソーシアムあきたへの支援等をとおして、引き続き県内高等教育機関の地域貢献活動を推進する。

(2) 企画振興部長による2次評価

評価結果	●施策の推進状況
	●課題と今後の推進方向

4 評価結果の反映状況等（対応方針）

--

5 政策評価委員会の意見

--